

# 逗子の景観まちづくり

## 瓦版 第四十七号

平成二十七年十月二十日

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

[machi@city.zushi.kanagawa.jp](mailto:machi@city.zushi.kanagawa.jp)

### 「旧脇村邸」

田越川が久木川を合流させて、川幅がぐんと広がり逗子の入り江を目前にした位置に、桜山を背に深々とした緑に囲まれて、近代数奇屋風※建築がひっそりと佇む。旧脇村邸である。



「 入れば昭和 」 絵 大久保 礼子

旧脇村邸は、昭和初期の逗子の別荘建築の貴重な遺構としても、日本の経済・学術・美術分野の中心的存在であり逗子の戦後史とも深く係わった故脇村義太郎氏の居宅としても記念性の高い文化遺産である。

数奇屋風の装いに暖炉さらにベランダの切妻壁に丸窓を配し意表をつくなど随所にアーテコデザインの取り入れられている。昭和初期に流行した和洋折衷様式建築の典型。今では少なくなつたが、逗子には和風の家に洋館の応接間を併設した家が多かった。逗子がそうした流行に直結していたことの一面を示している。

内部の意匠は数奇屋造りで統一されているが、洋風の応接間や暖炉、ベランダがある。二階の和室からは、逗子湾・相模湾・披露山・鳴鶴ヶ崎そして富士山が眺望できる。

又、広い茶室や1万5千冊を収納出来る大きく堅牢な書庫も備えてられている。

脇村家と正田家が姻戚関係にあることから、両陛下がしばしば訪れていた。

旧脇村邸は、田越川に沿って、桜山の麓を、六代御前の墓、蘆花・独歩ゆかりの地そして

山上の古墳を結ぶ歴史・文学のコース上にある。

旧脇村邸は、義太郎氏の没後、国に物納されたが、保存活用を求める市民の運動に因って、逗子市が買い取った。この魅力的な建物で、故人を偲びつつ逗子の現代史などを語り合う市民サロンが催されることを願う。

文 山本勝哉

※茶室風の様式を取り入れた住宅様式



「 丘陵の裾野に建つ旧脇村邸 」 絵 永橋 為成

# 私の逗子の歩き方 ～歴史的建築物を巡る～

逗子には素敵だな～と思う家がたくさんあります。お散歩中に、自然と調和した趣ある建築物にも偶然巡りあえるかもしれません。

## 旧脇村邸

瓦版の表面でもご紹介した旧脇村邸は、蘆花記念公園内にあり、逗子市景観重要建造物、国の登録有形文化財に登録されています。

基本は和風建築ですが、外観は、丸窓と暖炉の煙突が特徴的な洋風のデザインも取り入れ、背景の山並みに寄り添うような佇まいをしています。

海に向かって窓が開き、ステンドグラスの丸窓からは夕日が差し込み、赤い夕日が部屋の中で動くように見える仕掛けとなっており、逗子の自然を楽しむための工夫が凝らされています。

内装は、1階の居間兼食堂は、暖炉があり、2階の客間の床には、お茶を点てられる工夫が取り入れられています。

※外観の見学ができます。内部は一般公開されていませんが、景観サポート隊であるほととぎす隊が毎週風通しや掃除を行っています。

西側外観

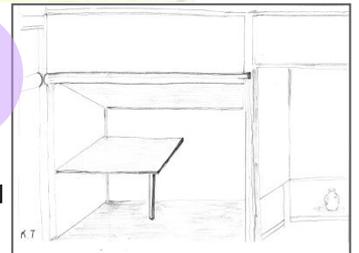


1階暖炉のある居室



「青いペチカ」  
絵 小林 治子

2階客間



「主の帰ってくる場所」

絵 巽 香



## 長島孝一家住宅 主屋

逗子で最初に別荘地がひらかれた田越川界隈に、法律家 長島鷲太郎が葉山別邸として建設したもので、国の登録有形文化財に登録されています。木造平屋建の和風別荘で、上面に向かって尖りのある玄関庇を付け、座敷に広い縁側を配しています。今となっては数少ない、海浜別荘地帯であった名残を感じさせる貴重な建物です。

※普段は見学できませんが、下記イベントが開催されます。

## イベントのお知らせ

逗子の別荘邸園を散策し、逗子が輩出した芥川賞作家の描写した逗子を読む

2015/11/15(日)14時～17時

集合場所:逗子市役所前、参加費:1,000円(事前申込制・先着順)

申込・問合せ(山本):

TEL080-5096-1385

E-mail katsuya.yamamoto@jcom.home.ne.jp

主催:NPO法人逗子文化の会

## 文化財住宅で聴く「平家物語」

2015/11/7(土)14時～16時30分  
雨天開催

会場:長島孝一郎(逗子市新宿1-5-14)、参加費:3,000円(資料、茶菓子代含)

申込・問合せ:(先着順・申込み切11/1)nagashimaka@gmail.com

主催:NPO法人逗子文化の会



瓦版の編集担当は 逗子市環境都市部まちづくり課

電話:046-873-1111 FAX:046-873-4520

Mail: [machi@city.zushi.kanagawa.jp](mailto:machi@city.zushi.kanagawa.jp)

逗子の景観まちづくり

検索

クリック!

まちを美しくするFacebook  
逗子の景観まちづくり  
いいね!してね!

瓦版に掲載する  
逗子の景観コラム、  
イラスト募集中!!



☆瓦版のバックナンバーは逗子市庁舎一階、まちづくり課窓口、市民交流センターに配架しています。逗子市HP、逗子の景観まちづくりフェイスブックにもアップしていますのでご覧ください。